

雨よけ夏秋ピーマンの尻腐れ果発生を低減できるかん水指標

【概要】

- 1 本県の雨よけ夏秋ピーマン栽培における、葉面積指数を基にした日射比例式かん水指標は表1のとおりです。これに従いかん水すると、かん水量不足の場合と比較して、総収量が24~39%増加するとともに、尻腐れ果の発生率を総収量の5%以下に抑えることができます(図1、2)。
- 2 日射比例式かん水の実施が困難な場合は、表1を基に算出した天気別の日別株あたりにかん水量の指標を参考としてください(表2)。
- 3 このかん水指標は、排水が良好なほ場を対象としています。ほ場の土性や作物の生育状況等により、かん水量が過不足する場合がありますので、pFメータ等を活用して、かん水量を適宜調整して下さい。また、点滴かん水チューブを用いて、1日に必要なかん水量を、可能な範囲で少量多頻度に行うことが望ましいです。

表1 日射量に比例したかん水量の指標

日射積算量1MJ/m ² あたりの かん水量 (mL/株)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	27	69	101	144	194	204	212

表2 天気別の日別株あたりにかん水量の指標

かん水量 (L/株/日)	天気	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	晴れ	0.7	2.0	3.0	4.1	4.8	4.2	3.6
曇り	0.5	1.4	2.0	2.6	3.6	3.1	2.4	
雨	0.2	0.3	0.6	0.6	1.2	0.7	0.8	

【試験データ等】

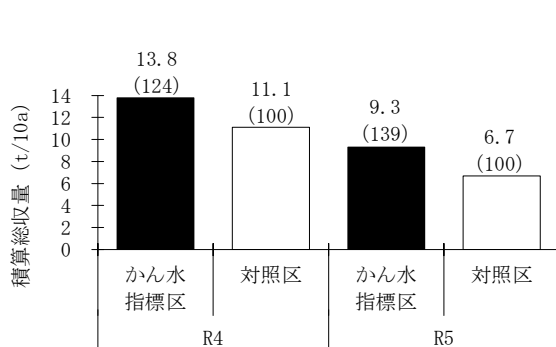


図1 ピーマン収量調査結果

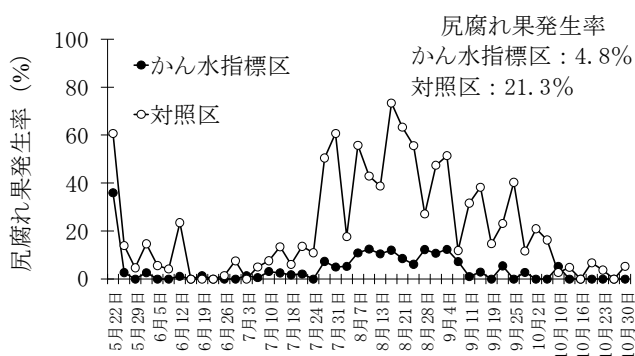


図2 ピーマン尻腐れ果発生率の推移 (R5年)

【令和5年度成果】雨よけ夏秋ピーマンの尻腐れ果発生を低減できるかん水指標 (R5-指-23)